

宮田 篤 (MIYATA, Atsushi), 教授

1. 教育の責任 (何をやっているのか)

科目		領域			位置づけ	開講時期			
						1 前	1 後	2 前	2 後
キャリアプランニング (食)	演習	総合	コモン	コモンベ-シックス	卒業必修		○		
キャリアプランニング (幼)	演習	総合	コモン	コモンベ-シックス	卒業必修			○	
インターンシップ A	実習	総合	コモン	コモンベ-シックス	秘書士必修	集中			
インターンシップ B	実習	総合	コモン	コモンベ-シックス			集中		
人間と文学	講義	総合	教養	人間の理解			○		○
スタディスキルズ II *1	演習	専門	専門		卒業必修		○		
特別研究 *1	演習	専門	専門		卒業必修			○	○
秘書学概論 *2	講義				秘書士必修	○			
ビジネス文書	講義				秘書士必修		○		
秘書実務 *2	演習				秘書士必修			○	○

*1 複数担当者による科目

*2 経営法学部 (上級秘書士履修者) との合同開講科目

- 1) キャリア科目担当者として、学生の自己理解・自己分析・自己表現の向上に努めている。
対学生だけでなく教職員間、対外部キャリア支援スタッフ、対企業、対卒業生と相互理解のための連携を図るコーディネータ、ネゴシエータ役を担っている
- 2) インターンシップについては 2018 年度における単位化開始、および 2019 年度からさらに改変を伴う中でのシラバス修正、新規受入先開拓、学科内運営等の整備・修正を行った。2019 年度から Teams によるファイル管理、学生指導、連絡全般において利用を開始したが、2021 年度には事務局を含めた運用が可能となった。「インターンシップ A」を秘書士必修科目とした効果については現時点ではできていない。秘書士履修者自体が多くはないということと年度ごとの学生の反応が大きく異なるということもある。2023 年度も試行錯誤を重ねたい
- 3) 教養科目の「人間と文学」は自分自身の学生時代の専門領域でもあるため、最も情熱を注げる科目であると同時に、キャリア科目よりはるかに受講学生が自分自身と向き合うための科目ではないかと思っている。この科目の短期大学の受講者は決して多くはないものの (2022 年度は学院大学 76 名に対し短期大学 4 名)、専門職の免許・資格取得に明け暮れ時間制約の多い短期大学生に、自覚する世界観と未来像の体感につながることを目指したい

2. 教育の理念 (なぜやっているのか)

- 1) 「相手に合ったコミュニケーションをとることができる栄養士」を育てることを目指している
- 2) 最終的には、学生が教員の助言や指導を離れ、独力で課題解決を実現するための想像力、判断力、創造力を持った「おとな」に成長することを目指す
- 3) 到達目標、学修成果については、学生が理解できることに止まらず、理解したことを表現できること (記述、口頭、図解などさまざまな手段で表現できること) を目指している

3. 教育の方法 (理念や目的を達成するために、どのように実践しているのか)

- 1) 全ての担当科目 (複数担当者による研究室単位の科目を除く) において、第 1 回授業のオリエンテーション時に「科目のディプロマポリシー (学位授与の方針【学修成果】・カリキュラムツリー・カリキュラムマップとの関連性)」「授業の概要・目的」、「自己点検・分析項目」「全 15 回 (通年科目は 30 回) の授業計画」「評価項目と割合」「成績評価基準および昨年度の成績分布」「期末レポート等の出題概要」「科目責任者の研究室・オフィスアワー・連絡手段」を、配布物とともに説明している。同時に、コマ毎ならびに最終コマにおける授業全体のふり返り方法を説明している

- 2) 毎回の授業開始時に、①当日の進行、②「基本目標」「到達目標」における該当回の位置づけ、授業内での経過確認と授業終了時の振り返り方法を示している
 - 3) キャリア科目と秘書士科目において *3、15 回の内 2 回ないし 3 回、グループワーク（ペアワーク含む）を実施している。このグループワークの振り返り内容については Forms による集計により、単にグループ（ペア含む）間だけでなく、全受講学生が閲覧をすることで情報共有できるように配慮している。
 - 4) 研究室単位の科目、秘書士科目 *3 において、プレゼンテーションのリハーサルと発表で、録画による振り返りを伴う演習を実施している
 - 5) 「秘書実務」*4 でのプレゼンテーション評価についてはルーブリックを使用しているが、授業担当者による成績評価とは別に、学生自身による自己評価も同一ルーブリックで実施し、グループワークによる振り返りに使用している
- *3 「キャリアプランニング」「秘書学概論」「秘書実務」「ビジネス文書」においてグループワークを実施
*4 「秘書実務」においてリハーサルも含めて録画による振り返りを実施

4. 教育の成果（教育の方法を行った結果、どうだったのか）

- 1) 研究室単位の授業以外の全科目において（「3. 教育の方法 *1」参照）、第 1 回および第 15 回終了時に「自己点検・分析シート」を作成させている。理解度の自己評価とその変化・成長に対する自己分析を記入させ、科目の目的・到達目標・学習成果を自ら点検させることを目的としている
- 2) また、コマ毎の授業終了時に「コミュニケーション欄」と称した自由記述欄にコメント・質問を記入した学生全てに、個別または受講学生全体に回答・対応してきた。ただし、この機能はコロナ禍以後 Teams に移行しつつあると感じられるため、2023 年度においてはコミュニケーション手段そのものを再度検討する予定である
- 3) 学生からの「コミュニケーション欄」コメント抜粋（原文のまま）
 - ① キャリアプランニング（食物栄養 1 年 53 期生）
 - *自分がこうなりたいという気持ちが強くなったと共に、長所・短所がまた新たにでてきた授業だった
 - *グループワークを通して、将来について見つめなおすことができた
 - *15 回を振り返ることができ、できることが増えたと感じた
 - *自分について答えることは意外に難しいことがわかった。具体的に答える練習を普段の会話でしたいと感じた
 - *自己 PR は自分的に良いと思っても、企業側に伝わらないとダメなので考えるのが難しいと思った
 - *普段から周りの人と会話をすることが少なかったため、良い経験になった
 - *先輩方の話を聞いて就職活動をできるだけ早く終わらせていくことで焦らずにいけるのは早くから行って良かったと思った
 - *この授業は終わったけどこれからの就活に活かしていきたい
 - *キャリアプランニングで多くの知識を得ることが出来たのでしっかり頭に入れておきたいと思います
 - *9 月の後半から、今と比べると履歴書の書き方、電話対応への知識が身についたと思う。また、社会人としてのマナーも動画などで分かりやすく知る事ができた。就活の際には、自分の事について分かりやすく、簡潔に面接を行えるようにしたい
 - *キャリアプランという授業はあまり好きではなかった。将来のことを考えるのが苦手だったから。しかし、自己分析を通して自分の良さを活かせる場所を探すようになり楽しくなった
 - *さまざまな職場での栄養士の業務を聞いて良い経験になりました。それぞれの業務の違いをふまえて、求人を探していきたいと思いました
 - *自分は栄養士に向いてないと感じていたけど、まだ完全に向き合っていないなと思って諦めないようにしたいと思った。自分はどちらかといえば完璧主義というか、失敗したくないと思うタイプだけど、失敗してもいいんだとあらためて思えてよかった
 - *キャリアプランニングで自分のやりたいことが見つかった。講義を受けてよかった

- ② 人間と文学（食物栄養 1・2 年 53・52 期生，幼児保育 2 年 52 期生，経営法学 2・3・4 年）
- * 文学作品から自己分析することについて，記述されていない部分からも推察し，なぜ自分はこう思うのか，考えることは難しかったが，自身の価値観を少しでも知ることができたよ経験だと思った
 - * 三島に出会わせてくれてありがとうございました。とても楽しかったです
 - * 15 回の授業ありがとうございました。資料など見やすく，グループワークのおかげで自分だけではなく，他の人との意見を共有できたことが良かったと思いました
 - * 三島の作品を初めて読みましたが，授業を通してより深く学べたので楽しかったです。ありがとうございました
 - * 『金閣寺』という作品を通して，自分を分析する機会ができたので良かったです
 - * 金閣寺を読んで自分のネガティブな考え方を改め，前向きになることができた
 - * 1 人で本を読んで終わりではなく色々な人と意見交換もできたし，この出欠確認票を通して先生とのやり取りも面白かったので，とても有意義な時間でした。ありがとうございました！！
 - * 1 コマ目と 15 コマ目のふりかえりをする事で自分の成長が目に見えておもしろいと思った
 - * 成長した部分を振り返ってみて，1 冊の本を読んだことにより，多くの部分が少しだけかもしれないが成長していることに気づくことができた
 - * 金閣寺，三島由紀夫を改めて思い返すことが出来る時間だった。三島作品を少しずつ読んで行きたいと思う
 - * 本日で最後ということで，あっという間でした。初めて金閣寺を読んだ時は難しく，理解するのが大変でした。読み終わった今は，溝口の生き方や他のキャラクターなど理解を深めることができました。ありがとうございました
 - * 『金閣寺』という作品を通して，自分自身を分析したり，色々な感性が自分の中にあっただと感じ，この授業はとても有意義な時間だったと思います
 - * 三島由紀夫に関することが少しわかったように感じた。小説も楽しいなと思いました
 - * 自分の考えを話せる機会を作ってくれてありがとうございます。となりの人の見解を聞けてとてもタメになりました
 - * 人見知りだけど，話題が決まっていたおかげでしゃべれました。うれしかったです
 - * ペアになった人が中国から来た留学生の方でした。ただでさえ難しい金閣寺をしっかりと理解されている方でとてもおどろきました。いい意見を交換することができました
- ③ 秘書実務（秘書士：食物栄養 2 年 52 期生／上級秘書士：経営法学 2 年）
- * 鑑賞教材を見終わった後，映画を 1 本見たかのような満足感だった。大変さは重々わかった上でホテルマンという職業に興味湧いた
 - * 授業で前にカトラリーの事をならいましたが，秘書の授業で実際にくわしく見る事ができたので，とても勉強になりました
 - * 私は，自分の発表を見て，発表中にスライドと正面を交互に見すぎていて，キョロキョロしていた印象を受けました。本番では視線とマイクの位置に気をつけたいと思います
 - * 自分が思っていることや伝えたいことは，思ったより相手に伝わりづらく，「知っているだろう」程度に話すと，相手は聞いてくれないことがわかった。伝えたいことをそのまま相手に伝えることの難しさを知り，自分にできるのか不安になった
 - * 視線は人の印象を大きく決めると感じ，プレゼンテーションのリハーサルはとても有意義なものになった
 - * プレゼンは発表より準備が楽しい
 - * 弔事はこれから参加することが増えると思うので今回のことをしっかりと覚えておきたいです
 - * 忌み言葉や重ね言葉など避けた方がよい言葉があるのがわかり，日本語は奥が深いなと思った。また外国でもそのような言葉があるのか気になった
 - * 俳句を読むのは小学生ぶりだったので懐かしい気持ちになった。授業はあと 1 回ですが，今年もよろしく願いいたします！

5) 評価方法・成果に対する課題

学生自身による「自己点検・分析シート」は、自ら問題点を発見し学ぶという学習態度への気づきには一定の成果を期待することができる。だが、基本は主観的なふり返り手段であるため、何かしらの客観的・絶対的な評価方法・基準の併用については、今後も引き続き検討する必要がある

5. 今後の目標

1) 短期目標

「自己点検・分析シート」で科目ごとに「到達目標」10項目のふり返りを実施してはいるが、学生本人のふり返り手段に止まっている。今後はこれらの項目を、シラバス段階ではディプロマポリシーと、授業段階では評価項目との連動を念頭に、再度、授業計画と評価のシステムを見直したい。検討の経過・成果については学科内学術懇談会や研究紀要にて発表し、学科教員との情報共有・問題共有を図りたい

2) 中期目標

「相手に合ったコミュニケーションをとることができる栄養士」を育てることを目指すとする自己の理念・目的をふまえ、単に進路の選択と結果（内定）に止まらず、他科目（特に「特別研究」）における成果の連携手法について検討したい

6. その他

- 1) 学内においては、短期目標・中期目標の成果を毎年度、研究紀要に記録として残すことで、継続的に関係教職員と共有したい
- 2) 学外においては、所属学会における実践事例報告や研究発表を目指したい

7. 根拠資料

- 1) シラバス
- 2) 各科目オリエンテーション資料
- 3) 各科目自己点検・分析シート
- 4) コミュニケーション記述欄シート
- 5) 授業改善アンケート
- 6) 期末レポート（キャリアプランニング，人間と文学）
- 7) プレゼンテーション録画映像・スライド（ビジネス文書，秘書実務）